

令和2年度 学校評価(保護者アンケート) 集計表【次年度へ向けて】

	NO	評 価 項 目	4	3	2	1	わからない	「そう思う」「どちらかといえどそう思う」の割合(%)	児童アンケートとの関連
確かな学力の育成	1	どの子にとっても参加しやすく、わかりやすい授業が行われていますか。(授業公開やお子さんの様子 等において)	12	17			1	100	91
	2	児童相互の学び合いによる問題解決的な学習が展開されていますか。	12	17	1			97	78
	3	児童の実態に応じて補充的な学習や発展的な学習を取り入れた指導がされていますか。	11	18	1			97	79
	4	言語活動を充実させるための授業が積極的に行われていますか。	9	15	3	1	2	86	72
	5	一人一人のきめ細やかな支援により、家庭学習習慣の確立が図られていますか。	10	13	4		3	85	86
	6	時間を有効に活用して、個に対応した支援が行われていますか。	9	15	1		5	96	54
豊かな心の育成		【確かな学力の育成】について ・「出来ない、わからない」ということを先生に言えず、問題が理解できずに次に進むので、ますますわからないところが多くなります。サブタイムの時、個々に合った解き方を指導してほしいと思います。(2) ・子どものやる気を出す工夫として表彰状は良いと思います。得意気に見せてくれます。(2) ・基礎的なことは身に付いているが、それを活かす応用力に欠けている気がしました。(5) ・今年の我が子は学習意欲が格段に向上した。学校の指導に感謝しています。(5) ・家庭学習の習慣はついてきたと思います。が、きめ細やかな支援というのがどこまでか分かりませんが、「もう少し」という部分もあったような気がします。(6)							
	7	多様な視点から語り合いながら、よりよい生き方を考える道徳の授業が行われていますか。	11	16			3	100	72
	8	子どもたちは人権の尊厳を理解し、自他を大切にしようとする心が育っていますか。	12	17			1	100	91
	9	子どもたちは学年に応じたふるまい(あいさつ・返事)が身についていますか。	7	18	4		1	86	90
	10	学校は危機管理を意識した対応を心掛けていますか。	12	13	1		4	96	91
	11	子どもたちの基本的自尊感情を育むため、ありのままの姿を認めたり、体験を共有する場を設けたりしていますか。	11	16			3	100	81
12	子どもたちの社会的自尊感情を育むため、異年齢集団で様々な活動をし、キャリアパスポートを有効活用したりしていますか。	8	20			2	100		
すこやかな体の育成		【豊かな心の育成】について ・学年が上がるといって、兄弟を想う心がより身に付いてきたように感じます。(2) ・子どもが学校が大好きで好きでいたいという気持ちが何より嬉しいです。先生方との関係、友達との関係がいいという事だと思えます。(3) ・学校ではしっかりとあいさつ出来ていても、地域においてあいさつがしっかり出来ていないように思う。家庭でも引き続き指導していきたい。(5) ・一人一人をよく観察して育てていただいていると実感します。(5) ・キャリアパスポートについて、今年度1回家に持って帰ったと思いますが、それが有効的に活用されたかは家では分かりません。たぶん、学校では有効的に活用されているのでは、と思うくらいですが…(6)。							
	13	体育の時間に十分な運動量を確保していますか。	9	16	1		4	96	95
	14	体力テストの分析を授業改善に生かし、子どもの体力や運動能力を伸ばしていますか。	6	13	3		8	86	
	15	子どもたちは業間休みや昼休み、休みの日に意欲的に体を動かしていますか。	12	13	3	1	1	86	77
	16	子どもたちは自分のめあてに向かって意欲的に陸上やホッケーの練習に取り組んでいますか。	9	14	4		3	85	
	17	家庭との連携を図りながら、望ましい生活習慣を身につけるための指導を進めていますか。	8	19			3	100	69
18	メディア接触について自分自身の問題ととらえさせるために、情報を提供したり積極的に改善を図らせようとしていますか。	8	18	2		2	93		
学校連・携家・協働地域の		【すこやかな体の育成】について ・メディア使用のルールを作ったが、守れていないのが現状、今後も学校に協力して指導していただきたいです。(5) ・我が子は自由に育てる方針なので、出来ていないことが多いですが、学校からは適切な指導をいただいています。(5) ・体力テストの分析を授業に生かし、と書いてありますが、我が子の運動能力につながっているかあまり分からず…。一輪車など低学年の時に乗れるコツをつかんでくれたらよかったですなと思った…。柔軟体操は能力を伸ばしていますね。(6) ・今年はコロナもあり、授業参観もあまりなく、学校での様子を見る機会も減っているため、分かりにくい。(6)							
	19	学校は、幼稚園や中学校との交流や連携に積極的に取り組んでいると思いますか。	12	14	3		1	90	
	20	学校は、他の小学校との交流を積極的に進めようとしていると思いますか。(横田中学校区の小学校など)	6	12	4	1	7	78	
	21	学校は、地域の人材や専門家を活用したり、地域とのかかわりを大切にしたりしながら教育活動に取り組んでいると思いますか。	12	17	1			97	57
	22	学校は、家庭や地域に対して学校理解のために学校だよりや学級だより、ブログなどで教育方針や児童の様子を積極的に伝えていると思いますか。	20	10				100	
	23	保護者が参加する学校行事(運動会・学習発表会・授業公開 等)の時期や回数、内容は適当だと思いますか。	14	12	2	1	1	90	
自由記述		・授業公開日の回数が多いです。同じ職場で同じ学校に行ってる人が数名いますが、同時に休めず困ります。日にち、曜日を変えていただけると嬉しいです。(2) ・コロナの拡大により、様々な行事が中止になったが、その中でもコロナ対策をしながら開催してくれた行事もあり感謝しています。また中止の行事については早めに判断していただいたので助かりました。(3) ・八川は昔から地域と一体化した教育が充実している。(5)							
		学校をよりよくするための意見・要望 ・先生の考え方や姿勢(背中、方針)を子どもが感じとり、理想としていることに心から感謝申し上げます。理想の大人像があることは心の支えです。(1) ・コロナ禍の中で、活動が制限されることが多々あったと思います。その中で行えることを見極められるのは大変だったのではと感じております。(2) ・先生方には子どもたち一人一人をよく見ていただき、感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。今後も協力していきますので、よろしく願っています。(5) ・コロナウイルスの流行により、いつも違う学校生活となりました。その中でも先生方にはいろいろなアイデアと努力で学校生活をよりよくしていただき、感謝しております。学習発表会のオンラインもすごくよかったです。学校へ出向く機会が少なく、寂しい年となりましたが、楽しい年となりました。ありがとうございます。(5) ・全国的に見て恵まれていると喜んでます。文科省に問題があるだけで、八川小学校の運営は素晴らしい。学力偏重でないところが特に良い。(5) ・今年はコロナの影響で例年のような行事がなかったり、参観日も少なかったりしたため、学校の取組や子どもたちの様子が分かりにくかったように思います。(仕方ないことですが)新しい先生が増え、年度初めの総会がなく、先生方の顔が分からなかったのが残念に思いました。何か紹介のお便りがあったらよかったです。親子運動会、秋も良いなと思いました。(6) ・授業公開は土日であってもいいと思う。(6)							

次年度へ向けての改善策

<p>総務部 ○職員会議の持ち方 ・第何週に何をするかをおおよそ決めて実施する。 →1,3週 運営に関わること 2週 生徒指導 4週 研究 (5週) 議題の残り、なければ教材研究などの時間にする。</p> <p>○働き方改革 ・ホッケー担当者が日直にあたる場合は、戸締り等の日直業務を日直外の教職員で声を掛け合って率先して行う。 ・アンケートの集計について、Googleなど活用できるものをもとに使うようにする。全体に使い方を周知するとともに、個人としても積極的にマスターに努める。 ・可能な限り、PCを活用した会議を行う。 ・週1回以上の定時退庁日宣言を継続する。 ○学校評価 ・項目については随時(毎年)見直しをし、実態に合ったものに変更していく。</p>
<p>教務部 ○行事の精選 ・感謝祭については実施しない。今年度のようにお礼の手紙のみとする。 ・全校集会は回数を減らす。 ・ロードレースは年2回の実施を継続する。 ・遠足は3つのローテーション(登山、地域、バス)を組んで実施する。 ○地域との関わり ・目的意識をもたせ、児童の主体的な取組に視点をおくようにする。 ○メディアとの望ましい関わり方に関する指導 ・学級活動の年間指導計画に盛り込む。月1回のノーメディア週間等の継続的取組を行う。 ○情報共有 ・全員で文書などを閲覧する方法を継続するほか、職員朝礼等を活用し、細やかな共有を図る。 ○授業公開日 ・土日での公開は、親子運動会と学習発表会のみとする。 それ以外は平日に実施するが、学習公開日については曜日が偏らないようにする。 ○ノーチャイム ・児童が時間に対する意識が高まったので、次年度も継続する。 ○表彰 ・担当を決め、担当者が進捗を行う。表彰する基準を決める。 生徒指導部 ○あいさつ(ふるまい) ・校内ではできているが、地域では不十分である。 →その時々で指導を継続、保護者への啓発も行う。 ○メディアとの望ましい関わり方に関する指導 ・メディアと生活習慣、学力との相関関係をPTAや幼稚園とも連携を図って啓発する。 ○避難訓練など…以下の訓練について次年度は計画的に実施する。 ・引き渡し訓練の実施(6月) ・不審者対応訓練の実施(6月) ・アクションカード(夏季休業中) ○自尊感情を高めるための取組 ・がんばったこと見つけやありがとうメッセージを発信する。</p>
<p>研究部 ○八川スタンダード ・策定できたことは前進だが、十分に徹底できていない面がある。 →見直しと改善を繰り返しながら、全教職員で徹底していく。 ○校内研究 ・互いに授業を見合う機会を増やすようにする。全員で研究授業を見合うようにする。 ・教科をしぼる。(アンケート済) ・言語活動の内容や在り方について、学年・教科ごとに明確にする。 ○授業改善 ・まとめでふり返りの時間を十分に確保できない場合がある。授業を45分で取めるための授業者のタイムマネジメントが必要である。 ・ねらいに迫るための授業の組み立てを工夫したり発問を精選したりする。 ・話し合い、深め合う場面としての「焦点化」の具体的な姿を明確にする。 ・学びを深めるため、教師による発問で話し合いをつなぐのではなく、児童同士が質問し合うなど、児童同士のつながりを意識した話し合いの姿を志向する。 ・話し合いの場面での教師のコーディネート力を向上させる。</p>